

市町村名	北谷町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	北谷町観光物産プロモーション			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設経済部 観光課	事業実施 (予定)年度	平成24年度-令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と観光資源である地域特産品の効果的なピーアール及び販路拡大支援を図るため、県外等において、誘客プロモーション事業を展開する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,714	11,872	8,600	12,300	12,492
		(b) 予算現額	7,959	11,872	8,600	12,300	12,492
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,755	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0		0	0	0
		A. 計 (b+d)	7,959	11,872	8,600	12,300	12,492
	B. 執行済額		7,292	10,967	8,600	12,300	12,492
	うち交付金充当額		2,933	8,773	6,880	9,340	9,993
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		91.6%	92.4%	100.0%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明		当初の計画のとおり、事業を執行した。				
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	公式特産品ちやたんブランドの認知向上	目 標	(提 案)	()	()	()	
		実 績	提案完了				
	現地旅行系WEB メディアへの働きかけ	目 標	(計 画)	()	()	()	
		実 績	計画完了				
	北谷町滞在モデルコースの企画実施及び販売	目 標	(作 成)	()	()	()	
		実 績	作成実施完了				
	WEB・SNSを活用したプロモーション	目 標	(計 画)	()	()	()	
		実 績	計画完了				
	インフルエンサーによる情報発信	目 標	(実 施)	()	()	()	
実 績		実施					
達成状況説明	・公式特産品北谷ブランドの認知向上/台湾でのイベント集客101人WEB情報発信で10万6,531PV達成 ・現地旅行系WEBメディアへの働きかけ/WEB媒体メディアリリースページ閲覧数40万7,839PV/雑誌媒体ページ閲覧数 21万5,436PV ・北谷町滞在モデルコースの企画実施/商品造成数 5本 ツアー参加者数 743人 ・WEB・SNSを活用したプロモーション/SNS媒体視聴者数31万6,547人。 ・インフルエンサーによる情報発信/SNS情報発信回数20回 総閲覧者数 51万42人						

成果目標 (指標) 及び進捗状況		R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)
		プロモーションの実施	目 標	()	(実施)	()	()	()
			実 績		実施			
		報告書の作成	目 標	()	(作成)	()	()	()
			実 績		作成完了			
		進 捗 状 況 説 明	・台湾における、WEBメディア・SNS媒体・インフルエンサーによる情報発信。通常の紙媒体による情報発信とあらゆる媒体での北谷町プロモーションを実施。それぞれ投稿記事に対するページ閲覧数や視聴者数が目標に対してそれぞれ110%~700%と大幅達成をした。 ・また旅行会社造成担当者を招聘しての北谷町の魅力紹介により北谷町滞在モデルコースを作成してもらい 実際に募集してもらったところ目標の370%の集客実績だった。 ・プロモーション実施後に町内宿泊業者への聞き込み調査を実施したところ、コロナで北谷町の魅力発信が途切れて台湾からの訪問数が伸び悩んでいたが、明らかに宿泊者が伸びたというヒアリングもあつた。 ・報告書についても、業務レポート9回 ミーティング8回を実施 それぞれの実施項目に関するアンケート結果も掲載された実施項目別個別業務報告書6回 年間総報告書1回(詳細版と概要版)の報告書を受領した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・(継続的情報発信)北谷町が今後も台湾で旅行先として選ばれるように継続的な情報発信が必要である。 ・(交通情報の提供)訪北谷台湾人に対しての空港から北谷町への交通、北谷町内での移動交通機関情報が足りなかった。 ・(観光コンテンツの整備)北谷町内マップ、観光コンテンツのカテゴリー別一覧、宿泊施設や団体向け駐車場などの観光マニュアルの整備が必要。 ・(受け入れ環境整備) レストラン観光施設等での繁体字対応 ・(客室数不足に対する対応)特にピーク期に客室数が足りない、 宮城海岸、北前地区の宿泊施設の紹介も、より必要である。	特に 空港から北谷町への交通 地域内交通のさらなる整備 と レンタカーに頼らない 交通情報の提供を強く検討すべき。・台湾人がより快適に過ごすための繁体字表記も含めた マップ観光、飲食施設の観光情報を整理した観光マニュアルの整備。・域内交通網をより充実させ 北谷町内の移動利便性を挙げて より広域の宿泊施設をPRして ピーク期における客室数不足の問題に対応する。
今後の取り組み方針		
・現地におけるPRをすることで より北谷町を理解してもらい 来訪需要を高めることができることが分かった。 国内も含めた 沖縄本島の観光GATEWAYをめざして 空港北谷間 北谷域内(特に台湾からの誘客の為にレンタルサイクリングのシステムの充実を図る) 北谷から他の観光地への交通の整備 PRをすすめる。北谷町内の 宿泊、飲食、観光施設が利用しやすいように繁体語表記を増やす。 個人旅行 団体旅行それぞれの旅行形態で旅行計画を立てられるように 施設ごとの収容力なども含めた観光マニュアルの整備をする。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13,220</td><td>12,492</td><td>9,993</td><td>2,499</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 北谷町 12,492千円 委託料 12,490千円 株式会社JALJTAセールス 12,492千円 北谷町観光物産プロモーション企画運営業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担	交付対象外経費	13,220	12,492	9,993	2,499	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担	交付対象外経費										
13,220	12,492	9,993	2,499	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、プロポーザル審査委員会を選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業の目的を達成するためには最小限必要不可欠なものであったことから、適正であったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北谷町							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-②	北谷町観光統計調査事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(エ)		
担当部署名	建設経済部 観光課	事業実施 (予定)年度	令和5年度～令和13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	DXによる沖縄観光の変革			
事業内容	本町における観光統計データの収集、整理、分析を行うことで、本町の観光統計データを整備し、当該データを基に既存の観光振興施策の改善や新規観光振興施策の立案へと繋げることで、効果的な観光振興施策を実施する。また、本町の観光関連事業者も活用できる観光統計データとすることでその事業発展に資し、本町と観光関連事業者が一体となって本町の観光振興を図り、本町を訪れる観光客の増加に寄与することを目的とする。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	13,168					
		(b) 予算現額	13,168					
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	13,168	0	0	0	0	
	B. 執行済額		13,168					
	うち交付金充当額		10,534					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・観光統計調査の実施 ・報告書のオープンデータ化		目 標	()	()	()	(実施)	
			実 績				実施	
達成 状 況 説 明		観光統計調査事業として次を実施した。 ①国や県、本町の観光統計について整理 ②携帯GPSデータを活用し、観光客の動態分析を実施(日本人、外国人) ③観光客を対象とした現地アンケートを実施 ④町内観光関連事業者へのアンケート調査 ⑤各種調査結果を踏まえたマーケティング調査 ⑥町内観光関連事業者に向けた報告会の開催						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	・観光統計調査による実態の把握 ・町内観光関連事業者へ報告書を提供		目 標	()	()	()	(実施)	()
			実 績				実施	
	進 捗 状 況 説 明		各種調査を実施し、本町を訪れた観光客の実態を把握した。また、町内観光関連事業者を対象に調査結果の報告会を実施し、調査結果の利活用を図った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・現地アンケートの回答結果がアンケート実施時期に左右されてしまう。 ・インバウンドに係るデータについては、今回実施した調査手法ではより詳細な結果を得ることが困難であった。 ・年度末に調査結果が共有されるため、年度内に上半期のデータを利活用したい場合、参考にするできない。 ・得られた調査結果をもとに、オーバーツーリズムの防止に向けた取組みの実施検討を行う必要がある。	・現地アンケートが特定の時期に集中しないよう季節ごとに分散して実施する必要がある。 ・インバウンドデータについては、当該データを提供する企業のサービス内容によって調査結果が左右されてしまう。そのため、今回使用したデータだけでなく、他のデータの活用や複数組み合わせることも視野に入れる必要がある。 ・上半期の調査結果を示せるよう中間報告会の開催検討を行う。 ・時期ごとに観光客の満足度等に注視し、オーバーツーリズムとなる基準を見定めるほか、観光客の分散化を図るような取組みの実施検討を行う。
今後の取り組み方針		
・現地アンケートの実施時期の分散化を図る。 ・より実態に近いインバウンド調査結果を得るため調査手法の再考を行う。 ・中間報告会を実施し、より早い調査結果の共有を図る。 ・引き続き携帯GPSデータを活用した観光客の実態把握を行い、経年変化の把握を行うとともに、観光地の入込客数等の目標設定を行う。 ・行政や観光関連事業者において得られた調査結果を活用した事業の取り組みを推進し、より効果的な観光誘客に努める。 ・オーバーツーリズムも視野に入れ、観光客の満足度を低下させないような基準を見定める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13,168</td><td>13,168</td><td>10,534</td><td>2,634</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	13,168	13,168	10,534	2,634	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
13,168	13,168	10,534	2,634	0										
北谷町 13,168千円 委託料 13,168千円 株式会社日本能率協会 総合研究所沖縄事務所・ 株式会社アーバントラ フィックエンジニアリング 沖縄事務所共同企業体 13,168千円 〔令和5年度北谷町観光動向分析調査業〕														
資金使途の流れ、点検・費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北谷町							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③	サンセットビーチ改良事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(ウ)		
担当部課名	建設経済部 土木課	事業実施(予定)年度	平成29年度～令和7年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備			
事業内容	サンセットビーチは、これまで部分的な改良をしてきたがその都度新たな課題が出るなどを繰り返しているため、ビーチ全体の改良として本事業を行う。本事業において、当ビーチを整備拡充することで観光客受入体制を整え、観光誘客を図る。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和7年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	502,372	—	170,335	—	184,492	
		(b) 予算現額	410,489	—	124,410	—	126,051	
		(c) 増減額(b-a)	-91,883	—	-45,925	—	-58,441	
		(d) 繰越額	—	343,576		56,276		
	A. 計(b+d)		410,489	343,576	124,410	56,276	126,051	
	B. 執行済額		158,796	251,693	68,144		126,051	
	うち交付金充当額		127,036	105,347	54,507		100,840	
	次年度繰越額		343,576		56,276		0	
	執行率(%) (B/A)		38.7%	73.3%	54.8%	0.0%	100.0%	
予算の状況の説明		予算減額の理由として、本町の祭りを行う箇所からの施工という方針となりスロープ工の減と、植栽で影を形成する方針となり東屋設置工の減により差額が発生した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	令和5年度サンセットビーチ改良事業。園路工、植栽工、照明工、給水工、休養施設工		目 標	離岸堤工、第一突堤工、第二突堤工	護岸工、浚渫工、湧水対策工、造成工、養浜工	園路工、休養施設工、管理施設工	園路工、植栽工、照明工、給水工、休養施設工	
			実 績	離岸堤工、第一突堤工、第二突堤工の完了	護岸工、浚渫工、湧水対策工、造成工、養浜工の完了	園路工、休養施設工、管理施設工の完了	園路工、植栽工、照明工、給水工、休養施設工の完了	
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成状況説明	R5年度改良工事において、園路工、植栽工、照明工、給水工、休養施設工を完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
	サンセットビーチ改良工事のうち、園路工、植栽工、照明工、給水工、休養施設工の竣工。		目 標	()	()	()	(完了)	()
			実 績				完了	
	【参考指標】 サンセットビーチ年間利用者数 ※ビーチ利用者数を成果目標として設定。		目 標	()	()	()	()	()
			実 績		97,388人	138,905人		
	進捗状況説明	R5年度改良工事において、園路工、植栽工、照明工、給水工、休養施設工を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ビーチの遊泳期間終了が10月末となっており、ビーチ管理者との協議により着工が11月からとなっているため工事期間が限られていたが、入札や議会等の諸手続きを計画的に行い、11月から着工できたことが、年度内に完了できた要因と考えられる。	ビーチ利用客の安全面を確保し、着工できる箇所があれば早期に着工できるよう管理者と協議・調整を行う。
今後の取り組み方針		
・早期の着工を目指し、入札や議会等の諸手続きを計画的に行う。 ・ビーチ管理者に事前に工事の説明を行い、ビーチ利用への影響が少ない範囲があるか等を協議・調整し、着工時期を早める取り組みを行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
126,051	126,051	100,840	25,211	0

北谷町
126,051千円

工事請負費
126,051千円

(有)日幸建設
126,051千円

令和5年度サンセットビーチ改良工事

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北谷町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	英語指導助手派遣事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進		
事業内容	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各小中学校に1名ずつの英語指導助手(AET)を派遣する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	14,780	19,097	20,501	19,330	19,141
		(b)予算現額	14,780	18,135	20,501	18,664	18,871
		(c)増減額(b-a)	0	-962	0	-666	-270
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	14,780	18,135	20,501	18,664	18,871
	B.執行済額		13,903	17,732	19,091	18,595	18,871
	うち交付金充当額		11,122	14,185	15,272	14,876	15,096
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		94.1%	97.8%	93.1%	99.6%	100.0%
予算の状況の説明		・当初予定していた事業内容について、適正に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	小学校4名(各校1名、幼稚園兼務)	目標	(AET配置数4名)	(AET配置数4名)	(AET配置数4名)	(AET配置数4名)	
		実績	AET配置数4名	AET配置数4名	AET配置数4名	AET配置数4名	
	中学校2名(各校1名)	目標	(AET配置数2名)	(AET配置数2名)	(AET配置数2名)	(AET配置数2名)	
		実績	AET配置数2名	AET配置数2名	AET配置数2名	AET配置数2名	
達成状況説明	【幼稚園】小学校英語指導助手を町立の幼稚園にも兼務として4名派遣することができた。 【小学校】町立4小学校に1名ずつ、計4名の英語指導助手を配置することができた。 【中学校】町立2中学校に1名ずつ、計2名の英語指導助手を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		82.3%	81.0%	86.9%	
	中学校:沖縄県学力到達度調査において英語の県と本町の平均正答率の差2.1ポイント以上	目標	()	(0.4ポイント以上)	(1.9ポイント以上)	(2.1ポイント以上)	()
		実績		△0.8ポイント	1.5ポイント	△2.3ポイント	
	進捗状況説明	【小学校】 ・英語に関するアンケートの設問において、「英語の授業は好きですか」「聞くことは楽しいか」「話すときは楽しいか」「もっと英語を読めるようになりたいか」「もっと英語を書けるようになりたいか」の5つの興味関心に関する質問に対し、肯定的な回答をした児童(1～6年生)の割合は81.0%と前年度をやや下回ったものの、目標値の80%を上回っている。 【中学校】 ・R5県到達度調査の結果において、目標を下回ってはいるものの県平均より1.5ポイント上回ることができた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	【小学校】 ・R5は英語専科教諭が1校に配置されたが、他の3校は英語の主たる授業者は学級担任だけであった。専科教諭が配置されない学校は、授業を進める上で英語指導助手の比重が高い学級が多くみられ、一般教諭の英語の授業力の向上が継続的な課題である。 ・各校とも、主たる授業者である学級担任との打ち合わせの時間の確保が困難な状況である。	【小学校】 ・英語への意欲関心をより高めるため、授業以外でも児童と積極的にコミュニケーションをとることを推奨し、英語が話せた、聞き取れたといった成功体験を積み重ねていけるようにしていく。 ・一般教諭が主たる授業者として効果的に英語指導助手を活用して英語の授業ができるよう、英語専科教諭を核とした研修を実施する。
	【中学校】 ・指導内容が主に「話す」「聞く」授業の場合に活用しているが、「読む」「書く」にもどう関わらせていくかが課題である。	【中学校】 ・英語指導助手の活用場面について、諸学力調査での生徒の実態を踏まえた上で各学校で指導計画を見直す必要がある。
今後の取り組み方針		
【小学校】 ・児童が日常的に英語にふれ、英語を「話せた」「聞き取れた」という成功体験を積み重ねていくことが、英語への興味関心をさらに高めることに繋がると考え、英語指導助手が授業以外でも児童と積極的にコミュニケーションをとるよう継続して推奨していく。 ・一般教諭は主たる授業者として効果的に英語指導助手を活用して英語の授業ができるよう、英語専科教諭を活用した研修を継続して実施していく。		
【中学校】 ・各学校において諸学力調査の結果分析を行い、「話す」「聞く」場面以外でも英語指導助手を活用できないか、指導計画の見直しを促していきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		19,024	18,871	153
		交付金充当額	市町村負担金	
		15,096	3,775	
北谷町 18,871千円 報酬 13,387千円 ・小学校英語指導助手報酬(4名) 8,457千円 ・中学校英語指導助手報酬(2名) 4,833千円 ・時間外勤務手当 97千円 町立小学校4校 町立中学校2校 職員手当(期末手当) 2,724千円 ・小学校英語指導助手期末手当(4名) 1,733千円 ・中学校英語指導助手期末手当(2名) 991千円 町立小学校4校 町立中学校2校 共済費 2,526千円 ・小学校英語指導助手社会保険料(4名) 1,616千円 ・中学校英語指導助手社会保険料(2名) 910千円 町立小学校4校 町立中学校2校 費用弁償 234千円 ・小学校英語指導助手費用弁償(4名) 168千円 ・中学校英語指導助手費用弁償(2名) 66千円 町立小学校4校 町立中学校2校				
ほか、学校行事参加 (交付対象外経費)113千円				
ほか、学校行事参加 (交付対象外経費)24千円				
ほか、学校行事参加 (交付対象外経費)15千円				
ほか、学校行事参加 (交付対象外経費)1千円				
資金の流 点検・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
資金の流 点検・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○北谷町会計年度任用職員の任用及び配置等に関する要綱に基づき、業務に適すると認められる者を任用しており、支出先の選定は妥当である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○北谷町会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則に基づいた予算であり、適正な規模であった。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用、使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	北谷町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	日本語指導学習支援員派遣事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実		
					Ⅲ-3-(1)		
事業内容	日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等へ学習支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	3,222	3,803	4,047	8,015	7,265
		(b)予算現額	3,222	3,805	4,047	6,954	7,274
		(c)増減額(b-a)	0	2	0	-1,061	9
		(d)繰越額					
		A. 計(b+d)	3,222	3,805	4,047	6,954	7,274
	B. 執行済額		3,140	3,733	3,956	6,885	7,274
	うち交付金充当額		2,511	2,986	3,164	5,508	5,819
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		97.5%	98.1%	97.8%	99.0%	100.0%
予算の状況の説明		・当初予定していた事業内容について、適正に執行した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	日本語指導学習支援員配置:2名	目 標	(配置数1名)	(配置数1名)	(配置数2名)	(配置数2名)	
		実 績	配置数1名	配置数1名	配置数2名	配置数2名	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	○日本語指導学習支援員2名を、町立学校4校を兼務として派遣することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		81.7%	78.5%	87.0%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	・北谷小学校と北玉小学校を拠点に、北谷中学校、桑江中学校でも日本語指導が必要な生徒に対し指導を行った。 ・日本語指導教室に通級する児童生徒一人一人に個に応じた指導を行うだけでなく、日本の生活習慣に適應するための指導や不安に対する心のケアも実施した。このことにより、教師や児童生徒との日本語による意思疎通が徐々にできるようになり、当該児童生徒の学校生活における困り感も解消されてきている。 ・令和5年9月から「日本語初期集中指導教室」を試験的に開設し、初級レベルの児童生徒へ集中的に指導できる体制を整えつつある。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・日本語指導を必要とする児童生徒が増加傾向がより顕著になり、その中でも日本語初級レベルの児童生徒数も多い状態が続いている。「初期集中指導教室」を開設したことで、初級レベルの児童生徒への指導は充実してきたが、指導を必要とする全ての児童生徒まで指導が行き届いていないのが現状である。 ・日本語でのコミュニケーションが不得手な保護者も増加傾向にあり、学校と保護者の円滑な情報伝達のために、日本語指導員が関わる場面が増えてきている。	・琉球大学と連携して「日本語初期集中指導教室」のカリキュラムの見直しを行い、より効果的な指導に繋げていく。 ・琉球大学と連携して、町教育委員会が主催する日本語教育に関する研修の内容の充実を図る。 ・各学校において、日本語指導教室に通級している児童生徒の保護者同士が交流し、繋がる場面を設定していきたい。
今後の取り組み方針		
・小学校1校に試験的に開設している「日本語初期集中指導教室」の指導内容、指導体制の充実を、琉球大学と連携して図っていく。 ・現在の指導体制がより効果的になるよう、日本語指導員の配置計画の見直しを行うだけでなく、日本語指導員向けの研修の充実を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>7,334</td><td>7,274</td><td>5,819</td><td>1,455</td><td>60</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,334	7,274	5,819	1,455	60
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,334	7,274	5,819	1,455	60										
北谷町 7,274千円 報酬 5,072千円 日本語指導学習支援員報酬 5,072千円 人数:2名 ほか、学校行事参加(交付対象外経費) 43千円 職員手当(期末手当) 1,037千円 日本語指導学習支援員 期末手当 1,037千円 人数:2名 ほか、学校行事参加(交付対象外経費) 9千円 共済費 922千円 日本語指導学習支援員の報酬に係る社会保険料 922千円 人数:2名 ほか、学校行事参加(交付対象外経費) 6千円 費用弁償 243千円 日本語指導学習支援員費用弁償 243千円 人数:2名 ほか、学校行事参加(交付対象外経費) 2千円														
資金使途の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○北谷町会計年度任用職員の任用及び配置等に関する要綱に基づき、業務に適すると認められる者を任用しており、支出先の選定は妥当である。 ○北谷町会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則に基づいた予算であり、適正な規模であった。 ○費用、使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北谷町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	学力向上学習支援員派遣事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実		
					Ⅲ-3-(1)		
事業内容	学習に後れを取っている児童生徒に対して、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、自ら学ぶ意欲を高め、基礎的、基本的な学習内容を理解させることで、学習環境の充実を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	16,960	19,404	20,881	20,806	20,253
		(b)予算現額	16,960	19,332	20,881	20,107	20,405
		(c)増減額(b-a)	0	-72	0	-699	152
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	16,960	19,332	20,881	20,107	20,405
	B.執行済額		16,095	19,040	20,284	19,942	20,405
	うち交付金充当額		12,875	15,232	16,226	15,953	16,323
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		94.9%	98.5%	97.1%	99.2%	100.0%
予算の状況の説明		・当初予定していた事業内容について、適正に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	小学校4名(各校1名)	目標	(配置数4名)	(配置数4名)	(配置数4名)	(配置数4名)	
		実績	配置数4名	配置数4名	配置数4名	配置数4名	
	中学校2名(各校1名)	目標	(配置数2名)	(配置数2名)	(配置数2名)	(配置数2名)	
		実績	配置数2名	配置数2名	配置数2名	配置数2名	
達成状況説明	○町立小中学校に1名ずつ、計6名を配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 1.3ポイント以上	目標	()	(0.3ポイント以上)	(0.8ポイント以上)	(1.3ポイント以上)	()
		実績		0.7ポイント	△2.6ポイント	△0.9ポイント	
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 中学校 △0.9ポイント以上	目標	()	(△0.6ポイント以上)	(△0.4ポイント以上)	(△0.9ポイント以上)	()
		実績		△2.7ポイント	△5.0ポイント	△0.4ポイント	
	進捗状況説明	・学力向上学習支援員が配置されたことで、授業においてより個に応じた指導を行うことができるだけでなく、学習プリントや教具の作成にも携わることで、授業や学習支援に繋がっている。 ・県到達度調査において、県平均に対し小学校は-0.9ポイントと設定した目標を下回りはしたものの昨年に比べ改善傾向にある。また、中学校は-0.4ポイントと設定した目標を上回る結果となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・学力向上学習支援員は、特に算数、数学で落ち込んでいる領域や単元を把握し、児童生徒の学習意欲を喚起する視点での児童生徒への声かけや支援、教材・教具の作成を行うことが必要であるとの共通理解の上で本取組を推進した。 ・小学校において中学校への学びの繋ぎを見据えた指導を重視した。 ・学力向上学習支援員も学習指導要領及び町の教育施策を踏まえた指導の在り方を踏まえ、児童生徒とのよりよい人間関係づくりを重視し、支援に当たるよう努めた。	・学力向上学習支援員の連絡会を年3回開催した。学習意欲が低い児童生徒への支援の在り方や、小学校低学年の段階でのつまずきに対しどのような支援を行うのが効果的ななどの情報交換や協議を活発に行われている。 ・効果的な支援は第一に児童生徒とのよりよい人間関係の構築が必要との観点から、人間関係づくり、生徒指導等に関する研修を引き続き受講させるようにする。
今後の取り組み方針		
・年3回(4月、7月、12月)町学力向上学習支援員研修会を実施しているが、それ以外にも研修を受けられる機会を設けていき、町の施策や児童生徒の課題について理解を深めさせ、児童生徒の自己肯定感を高め、学習意欲を喚起する視点で授業に携わっていく意識を高める。 ・現在の取組を継続しつつ、県の施策である「魅力ある学校づくり」の実現の一助となるような児童生徒との関わりを常に意識させるようにする。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>20,543</td><td>20,405</td><td>16,323</td><td>4,082</td><td>138</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	20,543	20,405	16,323	4,082	138
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
20,543	20,405	16,323	4,082	138										
北谷町 20,405千円	報酬 14,531千円	学力向上学習支援員報酬 14,531千円 (ほか、学校行事参加(交付対象外経費) 101千円) 人数:6名												
	職員手当(期末手当) 2,968千円	学力向上学習支援員期末手当 2,968千円 (ほか、学校行事参加(交付対象外経費) 20千円) 人数:6名												
	共済費 2,590千円	学力向上学習支援員の報酬に係る社会保険料 2,590千円 (ほか、学校行事参加(交付対象外経費) 15千円) 人数:6名												
	費用弁償 316千円	学力向上学習支援員費用弁償 316千円 (ほか、学校行事参加(交付対象外経費) 2千円) 人数:6名												
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○北谷町会計年度任用職員の任用及び配置等に関する要綱に基づき、業務に適すると認められる者を任用しており、支出先の選定は妥当である。 ○北谷町会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則に基づいた予算であり、適正な規模であった。 ○費用、使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北谷町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	北谷町ハワイ短期留学派遣事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-7	
担当部課名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進		
事業内容	本町の中高生をハワイへ短期留学させ、語学学習やホームステイを通して英語力の向上を図りながら、ハワイの北谷嘉手納町人会との交流会により海外で活躍しているウチナーンチュとの親睦を図り、世界的な視野を持った人材を育てる。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,317	7,144	7,124	4	12,151
		(b) 予算現額	6,087	0	0	499	9,792
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,230	-7,144	-7,124	495	-2,359
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	6,087	0	0	499	9,792
	B. 執行済額		5871	0	0	498	6,787
	うち交付金充当額		3920	0	0	0	5,429
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	99.8%	69.3%
予算の状況の説明		R2～R4は新型コロナウイルスの影響によりハワイ短期留学派遣事業を中止。令和5年度より再開。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	中・高校生ハワイ短期留学派遣:15人	目標	(派遣15名)	(派遣15名)	(派遣15名)	(派遣15名)	
		実績	新型コロナの影響により中止	新型コロナの影響により中止	新型コロナの影響により中止	派遣15名	
	派遣生の事前研修 派遣後の事後報告会及び報告書の作成	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
実績		新型コロナの影響により中止	新型コロナの影響により中止	新型コロナの影響により中止	実施		
達成状況説明	・R2～R4は新型コロナの影響により中止 ・R5は派遣生徒15名の募集に対し、51名の応募があり、日本語・英語面接、作文の選考試験を実施した。 ・事前にAETによる英語の研修会を4回実施したため、北谷嘉手納町人会とのピクニック交流会や各家庭でのホームステイ体験がスムーズに実施できたとともに、事後報告会の実施や報告書を作成することで、当初の目標の達成を確認できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		新型コロナの影響により中止	新型コロナの影響により中止	100%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・ハワイ短期留学の効果を検証するために、派遣後に保護者へのアンケートを実施したことで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合が80%以上であることから、当初の目標の達成を確認できた。 ・派遣生へもアンケートを実施したところ、「英語(検定級)のスキルアップ」、「海外大学に進学希望」、「国際的な仕事がしたい。」など、将来に対する目標を把握することができた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・ホームステイは、北谷町及び嘉手納町出身者で構成する北谷嘉手納町人会の家庭であるが、ハワイへ移民した歴史について事前学習がなかったため、事業の趣旨を理解していない派遣生もいた。 ・派遣生の英検取得状況及び英語運用能力について把握し、同時期に実施した金武町、宜野座村の短期留学派遣生と混合クラスとしたため、派遣生のレベルに合わせた講義が行えた。 ・英語が話せる職員を派遣したことで、ハワイ東海インターナショナルカレッジやホストファミリーとのコミュニケーションに支障もなく、派遣生を留学させることができた。	・ハワイへ移民した歴史について事前学習をすることによって、事業の趣旨を理解し、派遣生の国際的な視野がより広まると考える。 ・職員2名で派遣生15名を安全に引率することについては引き続き検討が必要。 ・事後報告会の日程について、学校によっては試験期間と重なってしまったので、日程をずらすなどの調整が必要。
今後の取り組み方針		
・選考試験を今よりも早期に実施し、派遣生を決定する。 ・平日はハワイ東海インターナショナルカレッジの学生寮での滞在、ホームステイは週末のみ北谷嘉手納町人会の家庭にする。 ・沖縄県からハワイへ移住した移民の歴史を事前に学習し、ハワイ北谷嘉手納町人会との親睦を深める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,581</td><td>6,787</td><td>5,429</td><td>1,358</td><td>2,794</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,581	6,787	5,429	1,358	2,794
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,581	6,787	5,429	1,358	2,794										
<pre> graph LR A[北谷町 6,787千円] --> B[委託料 6,623千円] A --> C[報償費 118千円] A --> D[役務費 46千円] B --> E[ハワイ東海インターナショナルカレッジ 3,752千円] B --> F[(株)リウボウ旅行サービス 2,871千円] C --> G[選考委員 謝礼金(3名) 90千円] C --> H[事前研修 謝礼金(3名) 28千円] D --> I[データ通信料 ポケットWi-Fi 46千円] E --- J["交付対象外経費 (食糧費) 1,142千円"] F --- K["交付対象外経費 (職員旅費)"] </pre>														
評価	点検項目		評価に関する説明											
資金の流れ、費目・使途の点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者の契約については、北谷町契約規則に基づき指名競争入札しており、妥当である。 ○短期留学の期間も効果が確認できる適当なものであり、予算規模は事業内容に見合った規模となっている。 ○受益者である派遣生徒は総事業費の約3割(上限10万円)を負担しており、事業内容から判断して妥当であった。 ○費用・使途については、主に航空運賃及び現地費用であり、真に必要なものに限定されている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北谷町							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	跡地利用推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(13)-イ		
担当部署	総務部 企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24～令和9年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地利用の早期着手に向けた取組の推進			
事業内容	今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び地権者に対する説明会等を実施する。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和9・10年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,679	23,265	19,657	43,472	17,116	
		(b) 予算現額	15,679	10,000	19,657	32,907	16,170	
		(c) 増減額(b-a)	0	-13,265	0	-10,565	-946	
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	15,679	10,000	19,657	32,907	16,170	
	B. 執行済額		13,860	4,693	18,150	31,614	16,170	
	うち交付金充当額		11,088	3,754	14,520	25,291	12,936	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		88.4%	46.9%	92.3%	96.1%	100.0%	
予算の状況の説明		不用額946千円は入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	キャンプ桑江南側地区:地権者への継続的な情報提供	目 標	()	()	()	()	(実施)	
		実 績					実施	
	桑江第一タンクファーム地区:前提条件の整理、今後想定される課題の抽出	目 標	()	()	()	()	(実施)	
		実 績					実施	
	キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区:都市機能・跡地利用基本構想(全体方針)検討、先行取得に係る条件整理及び検討、地権者合意形成活動	目 標	()	()	()	()	(実施)	
実 績						実施		
達成状況説明	(キャンプ桑江南側地区) ・先行取得事業における実績報告などを「まちづくりニュース」として地権者へ情報提供を行った。 (桑江第一タンクファーム) ・前提条件の整理、今後想定される課題の抽出を行った。 (キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区) ・都市機能・跡地利用基本構想(全体方針)検討、先行取得に係る条件整理及び検討、地権者合意形成活動を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	(キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区)調査報告書の作成	目 標	()	(完了)	(完了)	(完了)	()	
		実 績		完了	完了	完了		
	(桑江第一タンクファーム地区)調査報告書の作成	目 標	()	(完了)	(完了)	(完了)	()	
		実 績		完了	未実施	完了		
	(キャンプ瑞慶覧桑江南側地区)調査報告書の作成	目 標	()	(完了)	(完了)	(完了)	()	
		実 績		未実施	未実施	未実施		
進捗状況説明	(キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区) ・都市機能・跡地利用基本構想(全体方針)検討、先行取得に係る条件整理及び検討、地権者合意形成活動を行い、報告書を作成した。 (キャンプ桑江南側地区) ・返還時期が「2025年度又はその後」と示されているが、返還時期が不透明であることから、現時点での地権者意向調査は時期尚早と判断し、見送った。 (桑江第一タンクファーム地区) ・前提条件の整理、今後想定される課題の抽出を行い、報告書を作成した。							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区) 工程表のとおり、都市機能・跡地利用基本構想(全体方針)検討、先行取得に係る条件整理及び検討、地権者合意形成活動を行ったことが目標達成の要因と考えられる。一方、「売る、貸す、使う」といった地権者の意向は固まっていないことが課題である。	(キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区) 過年度の跡地利用の検討結果を踏まえ、引き続き地権者との協議、説明会を行い、当該地区の有効な跡地利用の促進を図る。
今後の取り組み方針		
(キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区) 本地区の代表者と意見交換、地権者全体への説明会実施実施により、地権者が意向を固めやすいよう情報提供を行うとともに、地権者の意向とまちづくり計画の内容の整合が図られるよう、合意形成を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		16,170	12,936	
北谷町 16,170千円 → 委託料 16,170千円 → 日本工営都市空間株式会社 沖縄支店 16,170千円 跡地利用計画検討 ・ホームページ更新データ作成 ・まちづくりニュース発行 ・先行取得事業支援業務 ・跡地利用方針案の具体化 ・跡地利用基本構想(全体方針)の検討 ・先行取得に係る条件整理及び検討 ・地権者説明会開催補助 ・地権者意見交換会開催補助				
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託事業者は、指名競争入札で選定されており、選定方法は妥当であったと考える。 ○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当である。 ○費目、使途については業務完了後に検査を実施しており、目的に即し適正なものであったと判断した
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	北谷町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	里海プロジェクト事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)		
担当部課名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	令和3年度～7年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にすることを旨として		
事業内容	令和3年度に町内全域の海の生き物調査をする中、北谷町沿岸に打ち上げられた世界的にも珍しいウジラ、タイヘイヨウアカボウモドキの骨格標本を作成し、令和5年度末に開館予定の文化発信拠点で展示公開する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和13年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,995	7,942	12,324		
		(b) 予算現額	16,995	7,920	12,320		
		(c) 増減額 (b-a)	0	-22	-4	0	0
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	16,995	7,920	12,320	0	0
	B. 執行済額		16,775	7,920	12,320		
	うち交付金充当額		13,420	6,336	9,856		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		98.7%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		・当初予定していた事業内容について、適正に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	北谷町沿岸環境保全利用調査報告書の作成	目 標	北谷町沿岸環境保全利用調査報告書の作成	()	()	()	()
		実 績	完了				
	北谷町沿岸河川環境保全利用調査報告書の作成	目 標	()	北谷町沿岸河川環境保全利用調査報告書の作成	()	()	()
		実 績		完了			
	タイヘイヨウアカボウモドキの骨格標本の製作	目 標	()	()	タイヘイヨウアカボウモドキの骨格標本の製作	()	()
		実 績			完了		
	達成状況説明	タイヘイヨウアカボウモドキの骨格標本の製作を完了した。					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (R7年度)
	タイヘイヨウアカボウモドキの骨格標本の製作	目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
	【R7年度成果目標】 パネル展示等により、保全意識が高まったか。 (アンケートで「保全意識が高まった」と答えた割合)	目 標	()	()	()	()	(80%)	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	当初の予定通りタイヘイヨウアカボウモドキの骨格標本の制作を完了した。						

取組 の 検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	国立博物館はじめ専門機関の助言を頂くことにより、期間内に目標を達成することができた。	作成した標本、レプリカのより良い活用を目指して解説キットなどを制作し町内小中学校等において教員等が使用できるようにしていきたい。
今後の取り組み方針		
【調査・研究】 ・陸域の生物調査を順次行う。 ・環境の変化を捉えるため5年もしくは10年後に再度調査を行う(モニタリング)。 【普及啓発】 ・調査結果を活用した企画展を開催する。 ・今後建設予定の町立博物館において展示する。 ・町民参加型調査(自然観察会)を行う。 【効果測定】 ・環境保全意識の変化を捉えるためプロジェクト終了後にアンケート調査を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>12,320</td><td>12,320</td><td>9,856</td><td>2,464</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	12,320	12,320	9,856	2,464	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
12,320	12,320	9,856	2,464	0										
北谷町 12,320千円 委託料 12,320千円 まっ工房 12,320千円 鯨骨全身交連骨格標本及び1/4スケールモデル作成業務委託														
資金 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は実績のある業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、入札残による事業費減額はあったが、適正な規模であった。 ○費目、使途は、事業目的に即し必要なものであった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北谷町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	北谷城跡活用促進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア		
担当部署名	教育部 文化課	事業実施 (予定)年度	令和5年度～令和7年 度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の保存・継承・創造と 更なる発展		
					Ⅲ-3-(3)		
事業内容	令和2年3月末に返還された駐留軍用地跡地に所在する国指定史跡「北谷城跡」の公開活用を促進するため、課題の整理や解決に向けたプロセスの確認及び各種調査を行う。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(7 年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,380				
		(b) 予算現額	6,380				
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	6,380	0	0	0	0
	B. 執行済額		6,380				
	うち交付金充当額		5,104				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		・当初予定していた事業内容について、適正に執行した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	公開活用に係る課題の整理	目 標	()	()	()	(実施)	
		実 績				実施	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状 況 説 明	返還跡地に所在する北谷城跡の現状把握と課題整理ができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (7年度)
	課題整理報告書の作成	目 標	()	()	()	(完了)	()
		実 績				完了	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	課題を整理した報告書を作成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	北谷城跡は基地返還跡地に所在しているため、支障除去作業や他の返還跡地における土地利用と不可分な状況にある。また、土地の引き渡しが当初予定(令和3年度末)から延びている状況である	支障除去や他の返還跡地の事業スケジュールを把握しながら事業を進める必要がある。
今後の取り組み方針		
課題整理で可視化される課題の解決に向け、支障除去や他の跡地利用推進事業について関係機関や関係部署と情報共有を図りながら、地権者へ事業内容の周知を行い、北谷城跡の保存や公開活用に向けて合意形成を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		6,380	6,380	

北谷町
6,380千円

委託料
6,380千円

日本工営都市空間
(株)沖縄支店
6,380千円

令和5年度北谷城跡保存支援業務委託

資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は指名競争入札で選定されており、選定方法は妥当であった。 ○予算規模は適正であった。 ○費目・使途は、事業の目的を達成するためには必要不可欠なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	